

発行：はつらつ編集局
 発行日：平成 25 年 10 月 1 日
 発行人：吉田 秀明
 編集人：はつらつ編集委員
 お問い合わせ：0135-23-3126



協会病院祭り



9月13日18時30分より病院1階ホールにて、協会病院祭りを行いました。会場には、今年のソーラン祭りや野球大会の写真を展示、ビデオにて看護の日のイベント等を放映しました。

患者様・地域の皆様にも、回を重ねるにつれ、当院のイベントを楽しみにしていただけている様で、当日会場には、多くの方々にお越しいただき有難うございました。

職員によるよさこいソーランにはアンコールを、一世代時代組様によるストリートパフォーマンスには拍手喝采を頂きました。花火打ち上げの時には、降っていた小雨も止み、夜空には綺麗なナイヤガラ滝・大輪の花火が咲きました。

患者様にも大変喜んで頂き、翌日には職員に「良かったよ」等の言葉をかけていただきました。今後も、患者様や地域の皆様に楽しんで頂けるよう、新たな企画をまじえながら続けて行きたいと思っておりますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。 **患者サービス向上委員会**

研修医リレーコラム57 「血糖値、甘く見ていませんか??」

病院で、「血糖値が高いですね」と言われた事はないでしょうか。「癌です」とか「心臓が悪いです」と言われると深く印象に残るけれども、「血糖値が高いです」と言われても症状がない事が多く、「まあいいか」と片付けられてしまいがちです。

症状が出ないために甘くみられてしまいがちな糖尿病ですが、血糖値のコントロールが重要なのは恐ろしい合併症を引き起こすためです。

一般的には神経、眼、腎臓に障害を起こすと言われています。具体的には、神経障害が起こると痛みやしびれが持続したり、起立性低血圧を起こす、尿が出にくくなるなどの症状が出る場合があります。眼は網膜症が進行すると失明してしまいますし、腎臓は最終的に透析が必要になってしまいます。

また、血糖値が高いと感染に弱くなるだけでなく、感覚が鈍くなるため、知らない間に足が腐ってしまう患者さんもいらっしゃいます。たかが血糖値、死にはしないと思うかもしれませんが、引き起こす合併症は恐ろしいものばかりです。そして本人の意識や生活習慣、治療次第でコントロールが可能な病気です。それを放っておいて重い合併症を残してしまうなんてとてももったいない事です。

血糖値が高いと言われた方はぜひ、合併症について調べてみてください。医者から血糖値が高いので注意しましょうと言われるよりも、合併症を知る事の方が治療する意欲につながるはずです。 **研修医 牧口 恵里奈**



(9月) 救急件数

外来受診268件
救急車来院84件

うち入院64件
うち入院42件